COMBI コンビカーシート 自動車用年少者保護装置 Y-W1・W2

# プリンストン

## 取扱説明書

プリンストンは、交通事故などの場合にお子さまの傷害をより軽くすることを目的に開発されたカーシートです。
安全をより確かなものにするために、この説明書をお読みになって正しくお使いください。なお、本書は車の中に保管し、必要に応じてお読みください。

目次


●ご使用前にお読みください……1
●プリンストンの使い方をわかりやすくご説明するために、各部分になまえをつけました……2
●取りつける前に準備をしましょう……3
●お子さまの座らせ方、おろし方を試してみましょう……4
●ではいよいよ取りつけてみましょう…5
●プリンストンロイヤルには付属品がついています……9
●いつもきれいなシートで。お洗濯もラクラクです……10
●安全のためにお守りください
●緊急の場合の処置

# ご使用の前にお読みください

## 次のようなお子さまに使っていただけます

●**体重**――7kg以上18kg未満

●**参考年齢**――生後4ヵ月頃から4歳頃まで

●**身長**――プリンストンに座らせたとき、後頭部が背もたれの上から出ないお子さま

●首がしっかりすわったお子さま。

## 取りつけできない座席もあります

●シートベルトのついていない座席

●奥行が45cm以下の座席

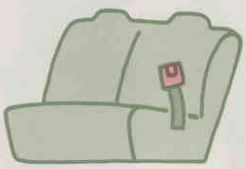
●極端なバケットタイプの座席

●ELR付2点式シートベルトがついている後部座席

●進行方向に対して横向き、または後向きの座席

●シートベルトがシートの中間から出ている後部座席

●シートベルトのベルト間距離が300㎜未満の座席



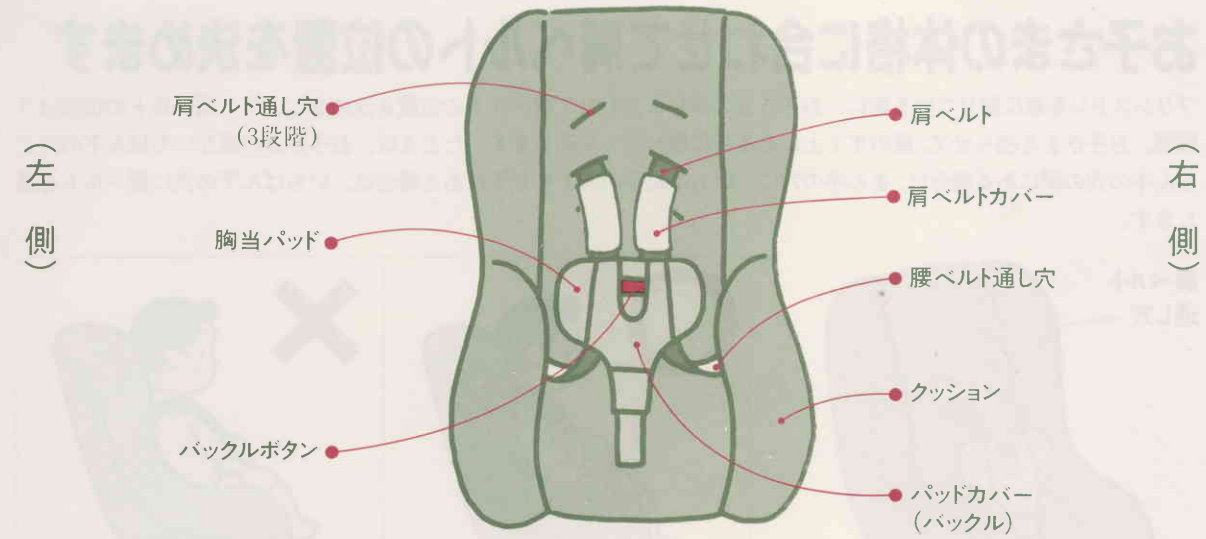
**★ELR付シートベルトとは**

〈緊急ロック式ベルト巻取装置付〉で通常ゆっくり引く場合にはベルトが自由に出入りし、急ブレーキや衝突などの衝撃を感知したときだけロック機構が働き、ベルトがロックされるシートベルトです。

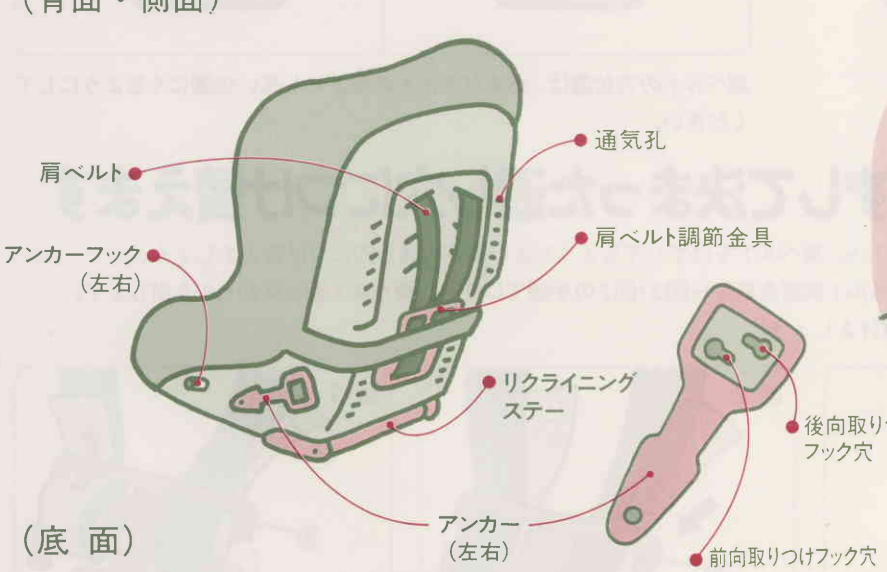
●シートベルトにはこの他、巻き取り装置がなく、身体に合わせてベルトの長さを調節する**NR式（長さ調整式）シートベルト**と、ロック機構がなく、ベルトを全部引きだして身体に合わせてベルトの長さを調節する**NLR式（非ロック式ベルト巻取装置付）シートベルト**があります。

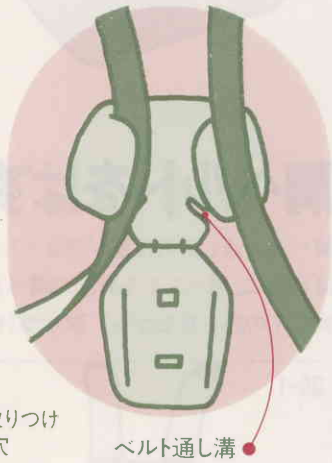
# プリンストンの使い方をわかりやすくご説明するために、各部分になまえをつけました

（正　面）

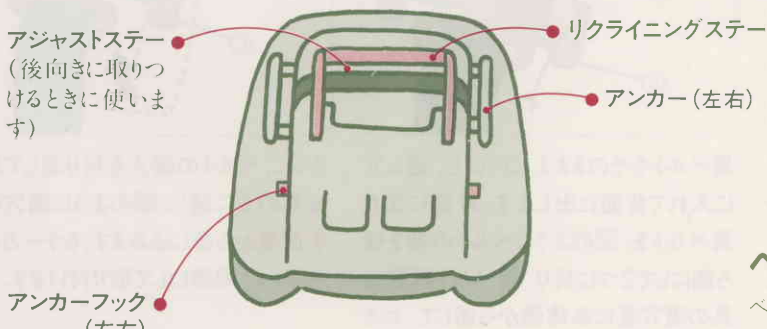


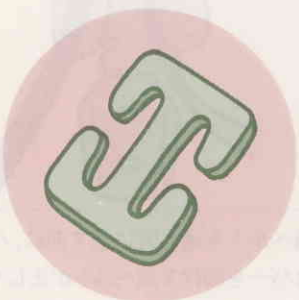

（背面・側面）




（底　面）



## ベルトクリップ

ベルトクリップは、ELR付３点式シートベルトに使います。（使い方は5、6ページに載っています）

# 車に取りつける前に準備をしましょう

●車に乗せる前に部屋の中で試してください。

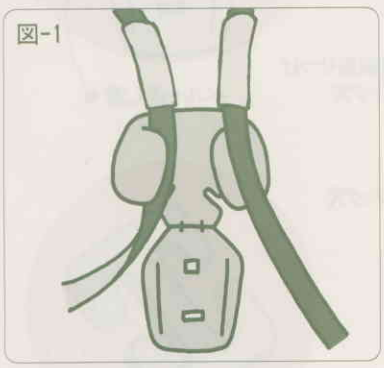
## お子さまの体格に合わせて肩ベルトの位置を決めます

プリンストンを車に取りつける前に、お子さまの体格に合わせて肩ベルトの位置を決めましょう。肩ベルトの位置は3段階。お子さまを座らせて、肩のすぐ上にある穴に肩ベルトを通します。たとえば、お子さまの肩がいちばん下の穴とまん中の穴の間にある場合は、まん中の穴に。いちばん下の穴よりも下にある場合は、いちばん下の穴に肩ベルトを通します。

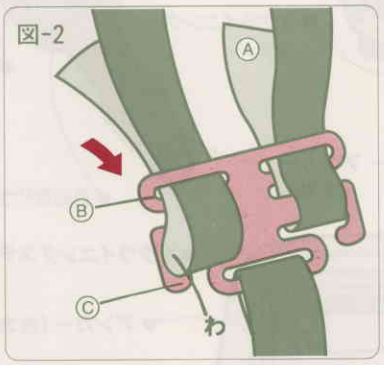
肩ベルトの穴位置は、必ずお子さまの肩よりも高い位置にくるようにしてください。

## 肩ベルトをはずして決まった通し穴につけ替えます

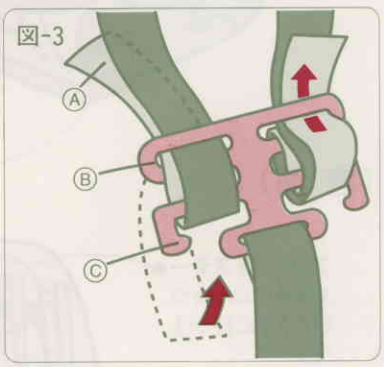
肩ベルト通し穴の位置が決まったら、肩ベルトをはずしてちょうどよい高さの通し穴につけ替えましょう。
はじめに、**肩ベルトを背面の肩ベルト調節金具から図3・図2の手順ではずし、肩ベルト通し穴から引き出します。**
次に下の図を見ながら、取りつけましょう。




肩ベルトを通し穴に通す前に、**パッドカバー**を開けて肩ベルトが正しく**ベルト通し溝**に入っているか確かめます。上図のように、ひとつひねりを加えた状態で通し溝に入っていればOK。




肩ベルトをそのまま上にのばし、通し穴に入れて背面に出します。背面に出た肩ベルトを、図のように**ベルトの端を後ろ側にして2つに折り**、肩ベルト調整金具の溝穴Ⓑに**本体側から通して**、わをⒸに横から差し込みます。

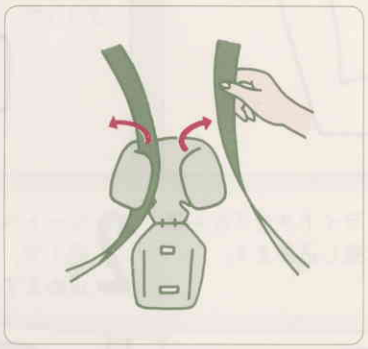



さらに、ベルトの端Ⓐを折り返して調整金具のⒸに通し、図のように**溝穴Ⓑに手前側から**差し込みます。もう一方の肩ベルトも、同様にして取り付けます。

# お子さまの座らせ方、おろし方を試してみましょう

〝プリンストンを車に取りつけてはみたものの、おとなしく座っていてくれるかしら……〟そんな心配、少しはありますね。そこで、車に取りつける前にもうひとつ、お子さまの座らせ方、おろし方を練習してみましょう。2－3回試してみれば、狭い車内でまごつくこともありません。お子さまといっしょに遊び感覚でやれば、プリンストンに慣れて、ドライブ中のお座りもきっと楽しくなりますよ。

**バックルボタン**を下に押して、そのままパッドカバーを手前に開きます。



肩ベルトを**肩ベルト通し溝**から引き出してパッドを手前に倒し、肩ベルトを左右に大きく広げます。

お子さまを深く座らせ、肩ベルトを左右の腕に通します。

パッドを起こしてお子さまの胸にあて、肩ベルトを**通し溝**に通します。このとき、肩ベルトは通し穴からまっすぐの状態です。

**ベルトにねじれがないか確認して**パッドカバーをおこし、カチッと音がするまで押して閉じます。

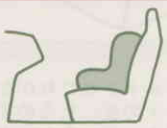
※肩ベルトがゆるすぎたり、きつすぎたりしたら、背面の**調節金具**で長さを調節します。

### リクライニングの方法

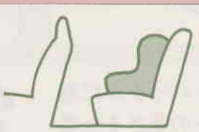
## プリンストンの取りつけ方

プリンストンの取りつけ方には、下の4通りがあります。お子さまの体重に合わせて選びましょう。**安全性の高い後座席でのご使用をおすすめします。**

**前向き……体重9kg以上18kg未満のお子さまに**

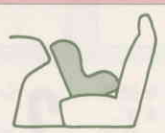


前座席の場合



後座席の場合

**後向き……体重7kg以上10kg未満のお子さまに**



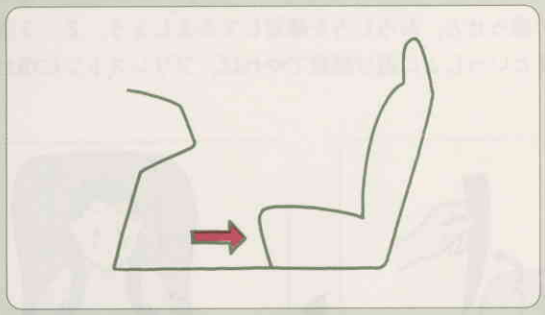
前座席の場合

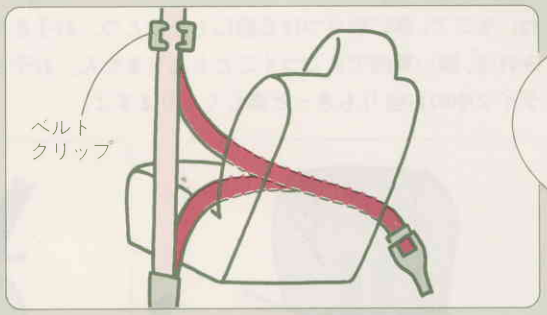
後座席の場合

# では、いよいよ取りつけてみましょう

## 体重9kg以上18kg未満のお子さまに
## 前向きに取りつける場合（前座席への取りつけ方）

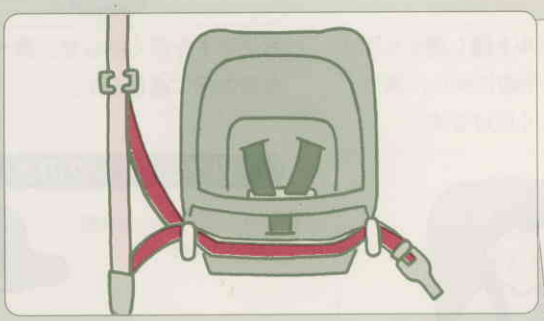
取りつけ
アンカーと
右の図の






**1** 前座席を後方へいっぱいにスライドさせてから車のシートベルトをバックルに差し込みます。

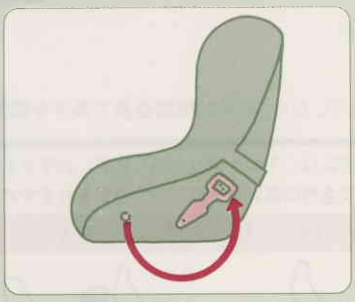
**2** シートベルトをいっぱいに引き出し、引き出し口近くで、ベルトを2枚重ねて、ベルトクリップで止めます。

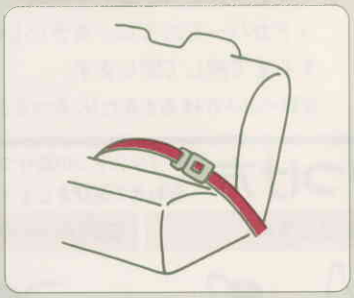


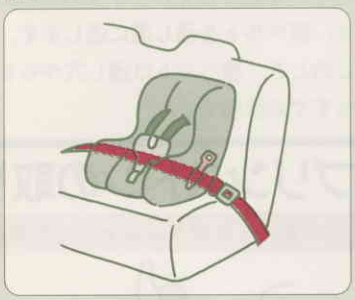
**4** ドア側のアンカーをはずし、シートベルトを2枚重ねて本体とアンカーの間に入れ、アンカーをフックにかけます。バックル側も同様にします。

シートベルトが短かい車の場合は、バックル側は2枚のシートベルトを。ドア側は腰ベルトだけを本体とアンカーの間に入れてフックをかけます。

## 後座席への取りつけ方（3点式シートベルトの場合は前座席の取りつけ方と同様にします）







**1** 取りつける前にアンカーを後側のアンカーフックにかけます。リクライニングステーは、後側にセットしておきます。
（リクライニングの状態にするときはステーを前側にセットします。）

**2** シートベルトをバックルに差し込み、ベルトの長さを一番長くして座席の奥におきます。

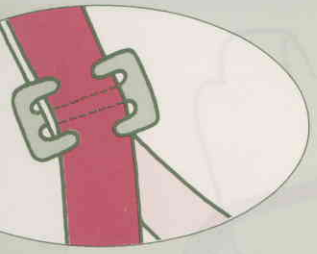
**3** シートベルトをねじれがないようにシートの奥にたるめて置き、プリンストンをベルトの中央、奥いっぱいに置きます。

前に
リクライニングステーは、
位置にセットします。

アンカーを
後側のアンカー
フックに
かけます

リクライニングを
起す場合は
リクライニング
ステーを後側に
セットします

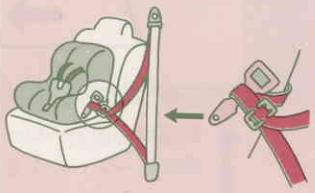
リクライニング
する場合は
ステーを前側に
セットします



**3** シートの奥に、ゆるめたシートベルトを2枚重ねて置きます。プリンストンをシートの奥いっぱいに、座席の背もたれと本体の背もたれがぴったり合うように置きます。

### ベルトクリップの使い方

シートベルトにたるみができる場合は、4.の手順に戻って左右いずれかのアンカーの近くで、肩ベルトと腰ベルト2枚を重ねてベルトクリップではさみます。



**5** ベルトクリップをはずし、肩ベルトを上方に強く引いて腰ベルトをできるだけ強く張り、余った肩ベルトを巻き込み装置に戻します。

**6** 前座席を前方へ力いっぱいスライドさせて、よりしっかり固定させます。最後に本体をゆすってぐらつきがないか確認します。

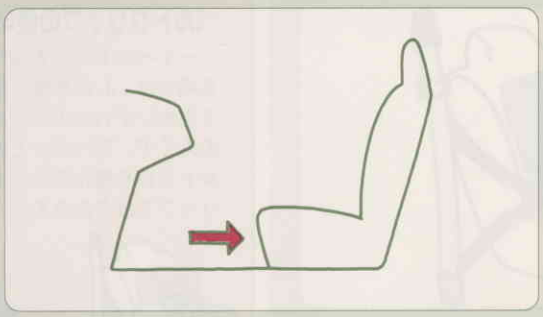
**4** 手前のアンカーをはずし、シートベルトを本体とアンカーの間に入れてアンカーをフックにかけます。

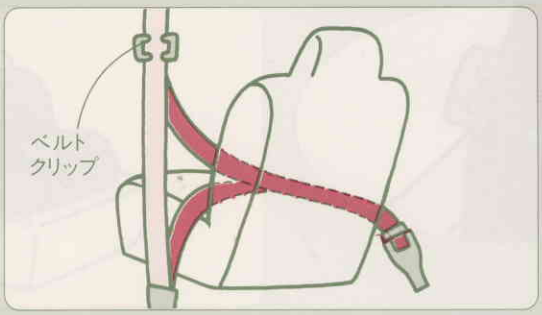
**5** もう一方のアンカーをはずして同様にします。シートベルトの長さを調節してピーンと張った状態にして固定します。

**6** 本体をゆすってぐらつくようなら、5.にもどってシートに沈み込むように本体をおさえつけながらベルトの長さを調節してさらにつよく固定します。

## 体重7kg以上10kg未満のお子さまに

# 後向きに取りつける場合（前座席への取りつけ方）






**1** 前座席を後方へいっぱいにスライドさせてから、車のシートベルトをバックルに差し込みます。

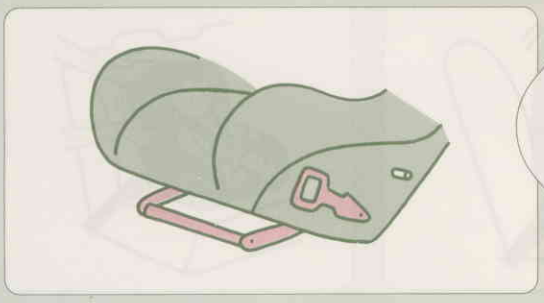
**2** シートベルトをいっぱいに引き出し、引き出し口近くで、ベルトを2枚重ねてベルトクリップで止めます。

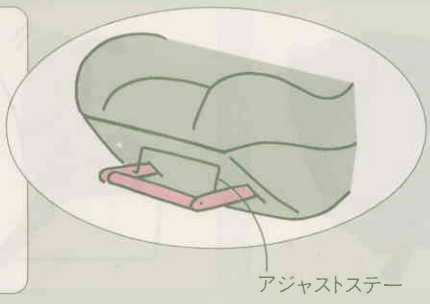
**4** ドア側のアンカーをはずし、シートベルトを2枚重ねて本体とアンカーの間に入れ、アンカーをフックにかけます。バックル側も同様にします。

シートベルトが短かい車の場合は、バックル側は2枚のシートベルトを。ドア側は腰ベルトだけを本体とアンカーの間に入れてフックをかけます。

## 後座席への取りつけ方

（3点式シートベルトの場合は前座席への取りつけ方と同様にします）



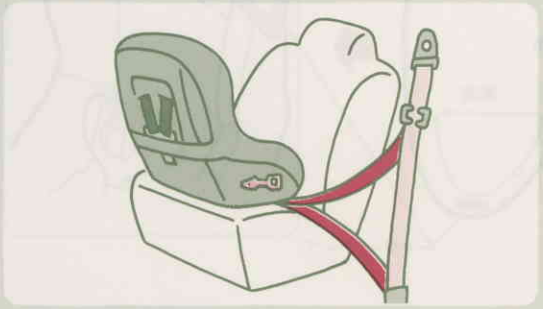


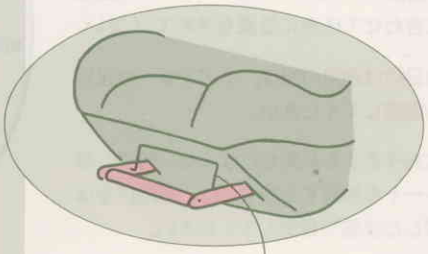

**1** アンカーを前側のアンカーフックにかけます。リクライニングステーを前側にセットし、アジャストステーをおこして本体をリクライニングさせます。

**取りつける前に**
**アンカーとリクライニングステーは、**
**右の図の位置にします。**

アンカーを
前側のアンカー
フックに
かけます

リクライニングステーを前側にし
後向き時のみアジャストステーを
止まるまでおこして、リクライニ
ングステーをセットします





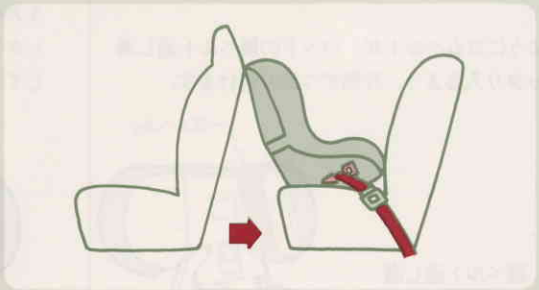
アジャストステー

**3** シートの奥に、ゆるめたシートベルトを２枚重ねて置きます。プリンストンをシートの奥いっぱいに、後向きに置きます。

※たるみのある場合は、ベルトクリップをご使用ください。

**5** ベルトクリップをはずし、**肩ベルトを上方に強く引いて腰ベルトをできるだけ強く張り**、余った肩ベルトを巻き込み装置に戻します。

**6** **前座席を本体の背もたれがダッシュボードに当るまで前方へ力いっぱいスライドさせて、**よりしっかり固定させます。最後に本体をゆすってぐらつきがないか確認します。



**2** “前向き・後座席への取りつけ方”の２～６と同様にして、プリンストンを後向きに取りつけます。

**3** 本体の背もたれが前座席の背面に完全にくっつくように、**前座席を後に引きます。**

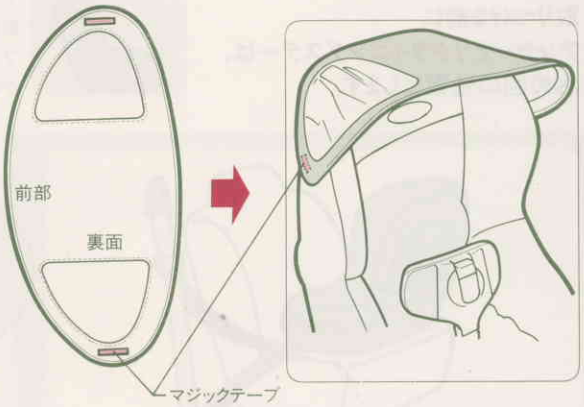
# プリンストンロイヤルには、付属品が付いています

## 日除けの取り付け方

日除けのややふくらみのある方を前方向にして、両サイドのマジックテープ部を本体の側面マジックテープ部にくっつけて固定します。日射しの方向に合わせて任意に位置を決めてください。

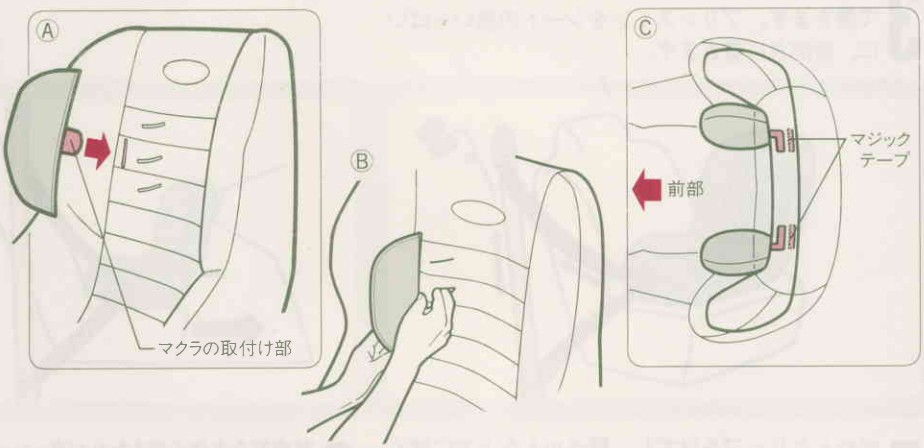
※後向き取り付け時の日除け使用の際は、ドアミラーの視界確保を考慮しながら調整してください。

**ご注意**：カーシートにお子さまをお乗せにならない時や、車の中にカーシートを放置する時などは、日除けをはずして、伸ばした状態で保管してください。




## マクラの取り付け方

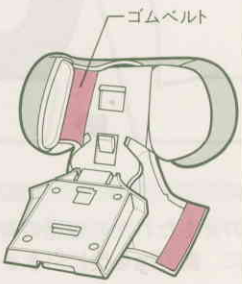
マクラから出ている取り付け部を、マクラ止め穴に差し込み(図Ⓐ)、肩ベルト通し穴から指を入れて(図Ⓑ)本体のマジックテープに図Ⓒのようにマクラの耳の部分を押さえつけて固定します。
マクラを取りはずす時は、前から引き抜けば取りはずせます。




## 胸当パッドパイルカバーの取り扱い方

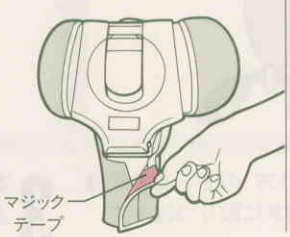
①カーシート本体のパッドカバーを開け、肩ベルトをパッドからはずした状態にします。

②図のようにゴムベルトが、パッドの肩ベルト通し溝にピッタリ入るよう、片側ずつ取り付けます。

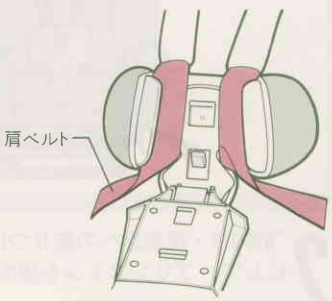



**ご注意**：
この時、肩ベルト通し溝に確実にゴムベルトがはまり込んでいることを確認してください。

③一度、パッドカバーを閉めて、パッドの股部分にパイルカバーを巻きつけ、マジックテープでしっかり固定してください。




④パイルカバーを取り付け終えたら、必ず肩ベルトがパッドの肩ベルト通し溝に正しく入っているかを確認してご使用ください。



# いつもきれいなシートで。お洗濯もらくらくです。

## クッションのはずし方

①肩ベルトを肩ベルト調節金具からはずし、肩ベルト通し穴から引き出します。

②肩ベルトをパッドからはずし肩ベルトの一方の端を引っぱって抜きとります。

③シートの下にあるホックをはずします。

④パッドのところからクッションをはずし、そのまま上へ引き上げます。

※クッションの取りつけ方は、逆の手順で行います。

### 肩ベルトカバーの取り扱い方（3ページ参照）

●３ページの肩ベルトのつけ替え方の図を参照しながら肩ベルトを背面の肩ベルト調節金具からはずして、肩ベルトカバーを引き抜いてください。

●取りつける時は逆の順序で取りつけ、肩ベルトの調節をしてください。

### 肩ベルトカバーの洗い方

●洗濯機、手洗いのどちらでもOK。
（クッションの洗い方と同じです）

## クッション、※マクラ、※胸当パッドパイルカバーの洗い方

●洗濯機、手洗いのどちらでもOK。洗濯機で洗う場合は、ぬるま湯で、弱い水流にセットしてください。

●干すときは、風通しのよい日陰に。

●塩素系漂白剤は、色落ちするので使わないでください。

## 本体、肩ベルト、※日除けのお手入れ方法

●普段は水拭きで充分です。
汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めた液で汚れをとり、水拭きしてから日陰干ししてください。

**※印は、「プリンストン・ロイヤル」のみ標準装備。**

# 安全のためにお守りください

①いつも走行前には、次のことを確認してください。
- ●プリンストンは、車の座席にしっかり固定されていますか？
- ●肩ベルトが肩にフィットしていますか？
- ●肩ベルトにねじれやたるみはありませんか？
- ●バックルは、しっかりロックされていますか？

②お子さまがプリンストンの上で立ったり、中腰になったり、正座をしたりしないよう注意してください。

③バックルボタンは、お子さまの力では押しにくい強さに作られていますが、何かの拍子にはずれてしまうことも考えられます。お子さまにはバックルボタンにさわらないよう言いきかせ、時々パッドカバーが開いていないかを確認してください。

④車の座席にクッション、座ぶとんなどを敷いたままでプリンストンを取りつけないでください。

⑤1度でも衝突事故などで強い衝撃を受けたプリンストンは、外見上の破損がなくても、絶対に再使用しないでください。

⑥肩ベルトに傷がついた場合は、必ず新しいベルトに替えてください。

⑦プリンストンに直射日光が当たると、本体やパッドなどが熱くなることがあります。お子さまを座らせる前に各部分にさわって、やけどをしないことを確認してください。夏は日陰に駐車するか、本体に布などをかけておくことをおすすめします。

⑧このカーシートは、必ず自動車のシートベルトで固定してください。また、お子さまが乗っていないときでも、必ずプリンストンをシートベルトで固定してください。

⑨2ドアや3ドアの車の場合、後座席に人が乗るときは緊急時の脱出のためプリンストンを助手席に取りつけないでください。

⑩運転中にはプリンストンの操作をしないでください。必ず、車を安全な場所に停車させてから行ないましょう。

⑪プリンストンを改造したり、本書にある以外の取り扱いはおやめください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

## 緊急の場合には

**事故など緊急事態のときは、保護者の方が〈プリンストン〉からお子さまを解放し、すみやかに車外へ連れ出してください。**

製品には万全を期しておりますが、お気付きの点がございましたら「お客様相談室」まで、ご連絡ください。


コンビ株式会社

本社/〒101 東京都千代田区内神田3-16-9 お客様相談室/TEL.(048)797-1000

営業所/東京(03)3257-4661・大阪(06)353-7481・名古屋(052)934-3676・福岡(092)531-7896



386023

運輸大臣認定保安装置

C－14